

マルヨシセンターホームページ



マルヨシセンターに関する情報は、
ホームページでご覧いただけます。

<http://ww2.maruyoshi-center.co.jp>



株主メモ

事業年度 毎年3月1日から翌年2月末日まで
定時株主総会 毎年5月
基準日 定時株主総会 毎年2月末日
期末配当金 毎年2月末日
中間配当金 毎年8月31日（中間配当を行う場合）
（その他必要がある場合はあらかじめ公告して定めた日）

単元株式数 1,000株

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関

同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
TEL 0120-094-777（通話料無料）

公告方法 電子公告（当社ホームページに掲載）
<http://ww2.maruyoshi-center.co.jp>
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告を
することができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

上場取引所市場 東京証券取引所 市場第二部

（ご注意）

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店ででもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

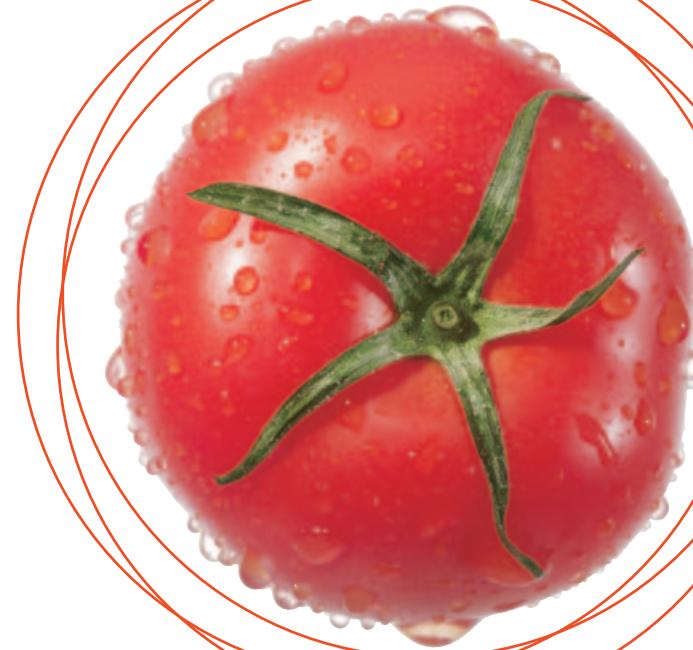
環境方針

- 企業活動のなかで、資源の有効利用、省資源、省エネルギー、廃棄物の削減、環境に配慮した商品の提供に取り組んでいきます。
- 環境に関する法規制および当社が受け入れを決めた要求事項を遵守します。
- 環境保全のために必要な改善の継続と汚染の予防に努めます。
- この方針は、文書化して全従業員に周知徹底し、実施・維持します。
- この方針は、社内外全般に公表します。

第58期 報告書

MARUYOSHI CENTER

平成29年3月1日 ▶ 平成30年2月28日



Top Message

地域の皆様の食生活を より豊かに、楽しく、便利にする ライフスタイル提案型 スーパーマーケットを目指します。

株主の皆様には、日頃より格別のご支援をたまわり、誠に有難く御礼申し上げます。

ここに、当社グループ第58期連結会計年度（平成29年3月1日から平成30年2月28日まで）の事業の概要と決算につきましてご報告申し上げます。

当連結会計年度（平成29年3月1日～平成30年2月28日）におけるわが国の経済は、景気は緩やかな回復基調が続いておりますが、一方、実質賃金の伸び悩み、社会保障料等の負担増加などにより個人消費に力強さ、勢いのない状況が続いております。また、海外の経済情勢も不確実性などの高まりにより、景気の先行きは依然として不透明な状況となっております。

小売業界におきましては、競合他社の出店や価格競争が一層激化しているとともに、労働需要の逼迫に加え人件費関連コストの増加、さらに、日々の買物での生活防衛意識はますます高まり低価格志向が継続しており、業界を取り巻く環境は引き続き厳しさを増しております。



代表取締役社長 佐竹 克彦

このような状況のもと、当社は、経営理念である「健康とおいしさ」のキーワードに「美容」を加え、食と美をテーマとした当社独自の商品を開発するとともに、旬の素材を使ったお弁当・惣菜類の展開を更に強化し、料理提案など魅力ある提案型の売場作りに取り組んでおります。一方で、昨年より節約志向に対し戦略的な営業施策として「家計応援」企画（エブリデーロープライス）を強化するとともに、商圏内のシェア拡大を図っております。また、縮小する商圏や異業種間の競争に対応するため、一昨年、新しいモデル店舗（グランデリーズ太田店）のフォーマットでの店舗規模の縮小化を図り、地域や店舗の特性に合った商品を選択し集中的に品揃えすることで、競合他社との更なる差別化を進めております。また、当社商圏内への競合店出店が相次ぎ、業績への影響が拡大していることから、効率化を目的とした企業体質の改善に着手いたしております。

店舗の改装につきましては、お客様の利便性を考えた買物がしやすい売場への変更を平成29年3月阿波町店（徳島県阿波市）で実施いたしました。

このような取り組みの結果、当連結会計年度の売上高は、392億65百万円（前期比2.8%減）、営業利益は3億86百万円（前期比31.2%減）、経常利益は3億4百万円（前期比28.3%減）、親会社株主に帰属する当期純損失は1億39百万円（前期は1億59百万円の親会社株主に帰属する当期純利益）となりました。

今後の見通しにつきましては、当社を取り巻く外部環境はなお厳しく、仕入原価の上昇、競合出店、個人消費の回復遅れ等の懸念材料もあり、引き続き予断を許さない状況であります。

当社は「健康とおいしさ」の経営理念に基づき、顧客にライフスタイル提案のできる店舗を構築するとともに、グランデリーズモデルの中小型店の開発を進めてまいります。

また、より迅速で確実な政策実現を目的に、経営と店舗とが情報交換や意志の伝達をよりスムーズに行えるよう、組織のフラット化を行ってまいります。

さらに、今後は、当社のコンセプトである「健康とおいしさ」に「美容」を加え、食と美の切り口から消費者のニーズに応えることで、将来に向けて新たな市場の開拓を図ってまいります。

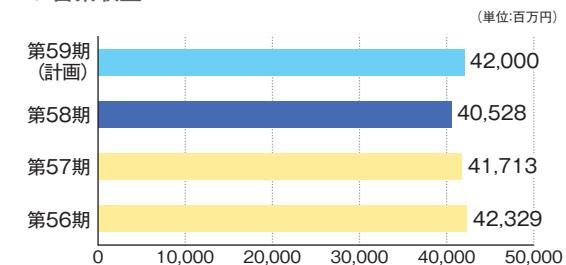
その他、消費者の食の安全や健康に対する関心に対応するため、自社製造商品の開発強化や品質にこだわった商品仕入等、価値ある商品の開発と提供も引き続き行ってまいります。

なお、省エネ投資、比較見積りを継続し、一層の経費削減にも取り組んでまいります。

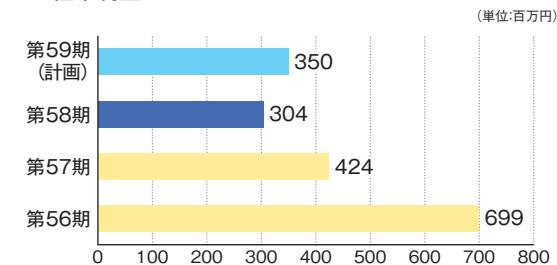
平成30年5月

◆財務ハイライト(連結)

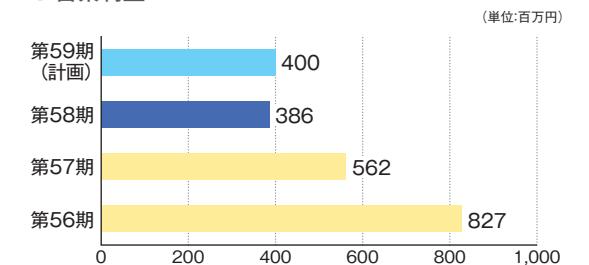
●営業収益



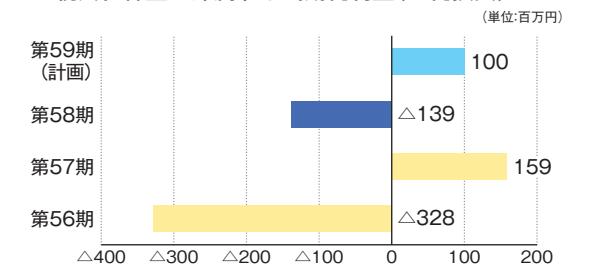
●経常利益



●営業利益



●親会社株主に帰属する当期純利益(△純損失)



さまざまなイベントを通じて、地域に食の楽しさ・健康の大切さをお伝えしています。

バレンタインにおすすめの料理 クッキングセミナー



八木香里先生（人気店「カルダモン」主宰）やスパイスマイスターを講師にお招きし、バレンタインにおすすめのピリッとスパイスの効いたお料理教室を開催。パスタバエリア、オニオングラタンスープなど男心をくすぐる逸品が揃いました。

野菜ソムリエプロ川村章子先生による料理教室 いざという時の災害食！



9月1日「防災の日」にちなみ、ストック食材で作る災害食セミナーを開催。習ったのはドライカレーやミートソースグラタンなどおいしさにも十分配慮され、たいへんな時でも笑顔が生まれるメニューの数々でした。

食育講演会 親子で楽しむ弁当の日



講師に「弁当の日」を考案された竹下和男先生をお招きしての食育講演会。感動的な講演となった第1部に続き、第2部は学年を超えて子どもたちがチャレンジする料理実習。大人顔負けのおいしそうなお弁当ができあがりました。

心と体の健康づくり ウォーキング教室



体脂肪と運動の関係や歩き方の基本フォームなどを講習で学んだのち、海辺のコースをおよそ1時間歩きました。初心者向けのプログラムは参加された皆様楽しんでいただけたようです。青空をバックに撮影した記念写真は笑顔であふれていました。

**Renewal
Open**
リニューアル
オープン

生まれ変わった
松縄店へようこそ!

地域のお客様のニーズによりマッチした 店舗に生まれ変わりました。

地域のお客様の新しいニーズにお応えできるよう、
新たなマーチャンドライジングを取り入れ、
お買物がより楽しくなるお店を目指しました。



リニューアル特別イベント餅つき大会

冬の寒さにも関わらず、店頭にはたくさんのお客様が。餅つきの実演を楽しそうに眺められ、つきたてのお餅のお土産は大変喜ばれました。



青果

こだわり野菜



化学肥料・農薬不使用の野菜や減農薬野菜のコーナーを新設。

松縄マルシェ



カット野菜



ニーズが高まるカット野菜の品揃えを拡大。

精肉

ハラール認証牛肉



時代のニーズを受けて新たな取り組みを開始。

Special Selection



牛肉セクションを大幅に広げ、より充実した品揃えに。

惣菜

Quick Dish



即食ニーズの拡大に合わせて、品揃えを拡大。

Teppan焼



新設した鉄板で焼くお好み焼きやだし巻き玉子を品揃え。

デイリー

洋日配ドリンク



ヨーグルト、飲むヨーグルト売場を拡張。トレンドの甘酒コーナーも新設。

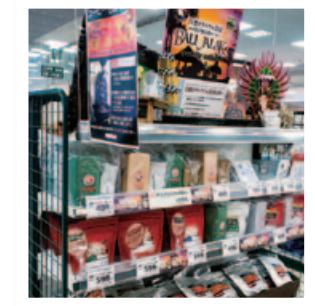
地元専門店のスイーツ



地場のケーキ屋さんのスイーツの販売も開始。

グロサリー

バリ島手摘み完熟コーヒー

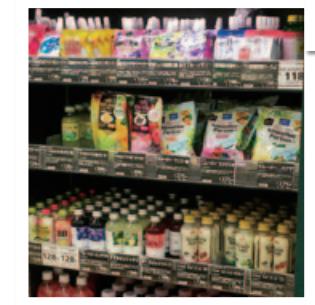


健康食品やこだわり食品売場をコーナー化。新しい情報を発信。

オーガニックフード



キレイプラス生活



美味ラーメン探訪



海産物

寿司コーナー



自慢の「魚屋さんのお寿司」。品揃えを増やし、お客様にアピール。



連結財務諸表(要約)

◆ 連結貸借対照表

(単位：千円)

科目	当期末 (平成30年2月28日現在)	前期末 (平成29年2月28日現在)
資産の部		
流動資産	2,922,417	3,164,376
固定資産	14,298,776	14,792,873
有形固定資産	12,000,312	12,478,386
無形固定資産	471,998	445,315
投資その他の資産	1,826,466	1,869,171
繰延資産	1,732	2,284
資産合計	17,222,925	17,959,534
負債の部		
流動負債	7,509,896	7,983,109
固定負債	7,712,329	7,815,963
負債合計	15,222,225	15,799,073
純資産の部		
株主資本	1,890,440	2,052,732
資本金	1,077,998	1,077,998
資本剰余金	813,528	813,528
利益剰余金	513,396	675,688
自己株式	△ 514,482	△ 514,482
その他の包括利益累計額	△ 11,352	3,306
その他有価証券評価差額金	△ 4,057	25,124
退職給付に係る調整累計額	△ 7,294	△ 21,817
非支配株主持分	121,611	104,423
純資産合計	2,000,700	2,160,461
負債及び純資産合計	17,222,925	17,959,534

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

◆ 連結損益計算書

(単位：千円)

科目	当期 (平成29年3月1日から 平成30年2月28日まで)	前期 (平成28年3月1日から 平成29年2月28日まで)
売上高	39,265,288	40,410,408
売上原価	29,757,324	30,652,678
売上総利益	9,507,963	9,757,729
その他営業収入	1,263,607	1,303,473
営業総利益	10,771,570	11,061,202
販売費及び一般管理費	10,384,867	10,499,023
営業利益	386,703	562,179
営業外収益	40,253	41,735
営業外費用	122,686	179,298
経常利益	304,270	424,616
特別利益	3,760	31,582
特別損失	332,244	61,508
税金等調整前当期純利益又は 税金等調整前当期純損失(△)	△ 24,213	394,690
法人税、住民税及び事業税	76,571	79,078
法人税等調整額	21,445	131,408
法人税等合計	98,017	210,486
当期純利益又は 当期純損失(△)	△ 122,230	184,203
非支配株主に帰属する 当期純利益	17,292	24,794
親会社株主に帰属する当期純利益又は 親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△ 139,523	159,409

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

◆ 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科目	当期 (平成29年3月1日から 平成30年2月28日まで)	前期 (平成28年3月1日から 平成29年2月28日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	993,957	459,837
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 484,183	△ 660,172
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 554,444	421,281
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△ 44,671	220,946
現金及び現金同等物の期首残高	1,049,352	828,405
現金及び現金同等物の期末残高	1,004,681	1,049,352

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

◆ 連結株主資本等変動計算書

(平成29年3月1日から平成30年2月28日まで)

(単位：千円)

科目	株主資本					その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	1,077,998	813,528	675,688	△ 514,482	2,052,732	25,124	△ 21,817	3,306	104,423	2,160,461
当期変動額										
剰余金の配当			△ 22,768		△ 22,768					△ 22,768
親会社株主に 帰属する 当期純損失(△)			△ 139,523		△ 139,523					△ 139,523
株主資本以外の 項目の 当期変動額(純額)						△ 29,181	14,523	△ 14,658	17,188	2,529
当期変動額合計	-	-	△ 162,291	-	△ 162,291	△ 29,181	14,523	△ 14,658	17,188	△ 159,761
当期末残高	1,077,998	813,528	513,396	△ 514,482	1,890,440	△ 4,057	△ 7,294	△ 11,352	121,611	2,000,700

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。



◆株式の状況 (平成30年2月28日現在)

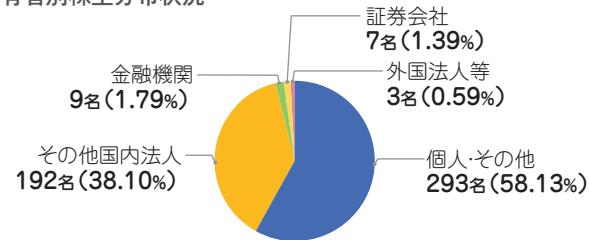
1) 発行可能株式総数	21,750,000株
2) 発行済株式の総数	8,749,990株
3) 株主数	504名

●大株主 (上位10名)

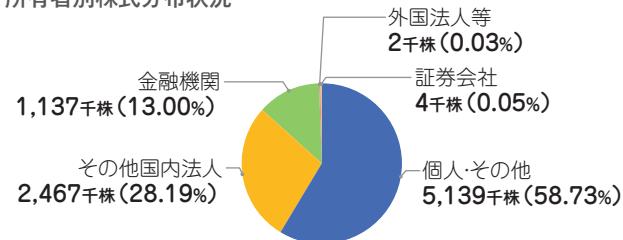
株主名	株式数(株)	出資比率(%)
佐竹 睦子	925,000	10.57
マルヨシセンター取引先持株会	748,000	8.54
有限会社 佐竹興産	499,000	5.70
株式会社 百十四銀行	379,000	4.33
株式会社 阿波銀行	379,000	4.33
マルヨシセンター従業員持株会	285,160	3.25
佐竹 克彦	258,000	2.94
黒田 泰弘	244,000	2.78
ロージー 美佳	170,000	1.94
損害保険ジャパン日本興亜株式会社	150,000	1.71

(注)当社は自己株式1,160,550株を保有しておりますが、上記の大株主には含めておりません。

●所有者別株主分布状況



●所有者別株式分布状況



◆会社概要 (平成30年2月28日現在)

社名	株式会社マルヨシセンター
設立	昭和36年3月
本店の所在地	香川県高松市南新町4番地の6
資本金	1,077,998千円
事業内容	スーパーマーケットおよびレストラン
店舗数	スーパーマーケット36店舗 レストラン1店舗
従業員数	458名 (ほか、パートタイマー1,235名 [8時間換算])

◆取締役・監査役 (平成30年5月25日現在)

代表取締役社長	き たけ かつ ひこ 佐竹 克彦
取締役副社長	い とう えい じ 伊東 栄治
取締役副社長	か とう ひろ みち 加藤 宏道
取締役	お がきわら まさ ひと 小笠原 将仁
取締役	おお した ひで き 大下 秀樹
常任監査役	た だ よし かつ 多田 好克
監査役	い がらし まさ あき 五十嵐 正昭
監査役	かわ ひがし しょう じ 川東 祥次

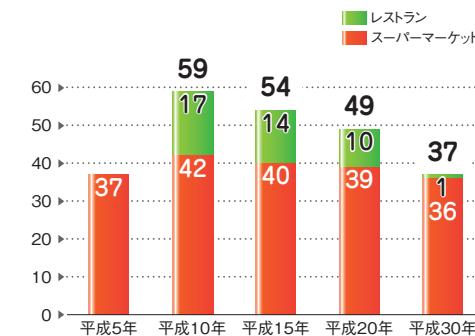
(注) 大下秀樹は社外取締役、五十嵐正昭及び川東祥次は社外監査役であります。

◆会計監査人 (平成30年5月25日現在)

優成監査法人



◆店舗数の推移



兵庫県

スーパーマーケット店舗

- 西淡店
- 洲本店

● レストラン店舗

● スーパーマーケット店舗